

No. 52

2013・初春の号

発行
N P O 法人
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35
mizube1999@yahoo.co.jp



新しい年がはじまりました。
2013年 巳年

佳きことがたくさんある一年になりますように。

▼ということで、年内に山国川水系の調査を終えた我々調査隊が確認し

実は、Y氏の熱い思いのこもった写真をもとに石橋の小冊子を発行する予定なのだが、この夏の水害で流れてしまったものが、このままでは知り得ない。総走行距離?そんなものは知り得ない。(ワタシは勝手に「石橋訪ね三千里計画」と名づけておった)Y氏の残した地図とレポートをもとに山国川水系を行ったり来たり。草で覆われたり、コンクリートで補修された石橋は、なかなか見つからなかった。その姿は、アヤシイ探検隊のようでもあり、お遍路さんは知り得ない。結果として流れを堰き止めるのは、川幅の狭い場所に架けられた昔の石橋の宿命でもあるのだそうだ。

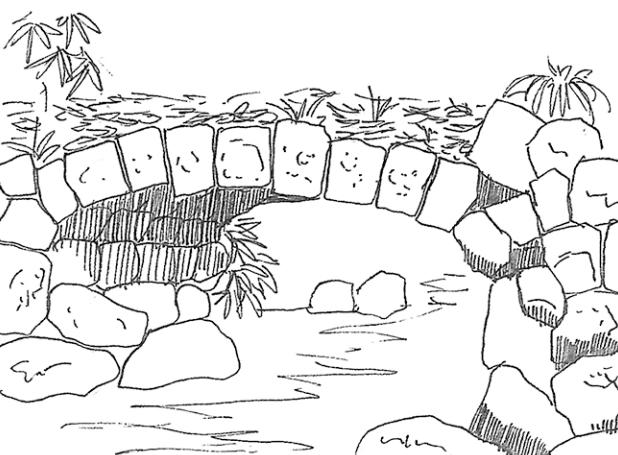
▼そんな中、年内にぜひ仕上げたいことがあると言う隊長の言葉にそそられた。Y氏は勝手に「石橋訪ね三千里計画」と名づけておった。Y氏の残した地図とレポートをもとに山国川水系を行ったり来たり。草で覆われたり、コンクリートで補修された石橋は、なかなか見つからなかった。その姿は、アヤシイ探検隊のようでもあり、お遍路さんは知り得ない。結果として流れを堰き止めるのは、川幅の狭い場所に架けられた昔の石橋の宿命でもあるのだそうだ。

▼そんな中、年内にぜひ仕上げたいことがあると言った。多くの方々が被災され、今までの生活を取り戻すことができない状態がある。国道212号は概ね復旧したもの、サイクリングコードの橋などように、手つかずのままのところもある。

▼そんな中、年内にぜひ仕上げたいことがあると言った。多くの方々が被災され、今までの生活を取り戻すことができない状態がある。国道212号は概ね復旧したもの、サイクリングコードの橋などように、手つかずのままのところもある。

▼ということ、年内に山国川水系の調査を終えた我々調査隊が確認し、Y氏の熱い思いのこもった写真をもとに石橋の小冊子を発行する予定なのだが、この夏の水害で流れてしまったものが、このままでは知り得ない。結果として流れを堰き止めるのは、川幅の狭い場所に架けられた昔の石橋の宿命でもあるのだそうだ。

▼橋が川の水を堰き止め、冠水被害を助長したと地元では取り沙汰されているが、確かに被害を目の当たりにしたものとしては、地元の方々の気持ちはよくわかる。技術が進んでおり、結果として流れを堰き止めるの



■活動報告(2012.7.31~2012.11.30)

- 7.31 日田市立博物館干潟観察会講師 アカテガニ産卵観察会主催
- 8. 1~2 干潟調査
- 8. 3 海民PJ 福岡ワークショップ参加
- 8. 4 海民PJ 中津エクスカーション主催
- 8. 5 海民PJ 中津現地視察
- 8. 6 京筑理科部会研修参加
- 8. 7 カブトガニ調査
- 8. 7~8 干潟調査
- 8. 17 ふくし祭り実行委員会参加
- 8. 18 豊前市夏休み理科教室講師
- 8. 21 中津市小学校理科部会研修講師
- 9. 2 九州海岸工学研究者会議参加
- 9. 5 大分大学教育学部干潟学習講師
- 9. 6 おおいたC A R E S 取材(対談)
- 9. 8 干潟調査
- 9. 9 大新田ビーチクリーン主催 日田市立博物館干潟学習講師
- 9. 13 沖代小学校4年生干潟観察講師
- 9. 14 日本水産学会周防灘フォーム参加
- 9. 15~16 シギチドリ調査
- 9. 20 中央環境審議会瀬戸内海部会出席
- 9. 21~22 干潟調査
- 9. 22 IUCNシマール氏セミナー参加
- 9. 28 大分県地方港湾審議会出席
- 9. 30 干潟調査
- 10. 3 ヒアリング調査
- 10. 4 鶴居小学校4年生干潟学習講師
- 10. 5 あいおいニッセイ損保基金寄付金授与式
- 10. 11 海民NW打合せ
- 10. 13 九州大学土木学生研修補助
- 10. 14 干潟調査
- 10. 15 ふくし祭り実行委員会参加
- 10. 16 ごみゼロおおいた県民会議出席
- 10. 19 大分県森林づくり会議出席
- 10. 24 ふくし祭り実行委員会参加
- 10. 25 三保小学校4年生干潟観察講師
- 10. 26 スナメリストランディング3個体対応 ふくし祭り準備参加
- 10. 27 干潟調査
- 10. 28 チリモンさがすぜ! 主催
- 10. 30 九州地方整備局地域活性化企画研修会講師
- 11. 6 東九州龍谷高校出前講座講師
- 11. 8~11 海民PJ 済州島ワークショップ
- ・エクスカーション 発表・開催協力
- 11. 12 中津干潟視察案内
- 11. 14 日本文理大1年生・4年生講義
- 11. 15 中津市環境ポスター審査
- 11. 16 北部小学校4年生干潟観察講師
- 11. 18 石橋調査
- 11. 23~25 海民PJ 伊勢湾エクスカーション参加
- 11. 28 中津干潟保全の会出席
- 11. 30 ソロプチミスト中津授与式出席 ふくし祭り反省会参加

2月3月の行事予定です。

伝 信 版

詳細は郵送されるチラシを見てね。

2月3日(日)10:00~ お魚ホネホネ教室

3月3日(日)9:00~ 三百間ビーチクリーン

3月10日(日) 海苔漉き体験(予定)

全国の読者の皆さんに調査指令です

ミッション
その1

あなたのお家のお正月をレポートせよ!

今年の年末年始何食べましたか?

あなたのお家に伝わる年末年始の定番料理やその料理にまつわる言い伝え、年末年始のならわしなどをレポートしてください。

ミッション
その2

おひなまつりにハマグリ調査せよ!

3月3日前後に、スーパー・マーケットやお魚屋さんでハマグリ調査をしてください。

調査した店名・日にち・商品名・産地・単価・値段・ハマグリの大きさと個数をレポートしてね。写メ撮って送るだけでもOKです。くわしい内容は、2月の終わりにブログに掲載します。

☆☆☆すべてのレポートは事務局まで☆☆おまちしてます☆☆☆
メール▶mizube1999@yahoo.co.jp

FAX▶0979-23-5320

お手紙でもかまいません。(中津市中央町2-8-35 水辺に遊ぶ会宛)

●水辺に遊ぶ会の活動にご寄付をいただきました●
会員の皆さんへご報告するとともに謹んで御礼申し上げます。

10月 5日 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社さまより

11月 30日 国際ソロプチミスト中津さまより

●調査ボランティアさん募集しています●

九州大学清野研究室と共同で山国川災害調査を行っています。
平日昼間を中心に、干潟での調査をお手伝いください方を探しています。
お気持ちのある方がいらっしゃいましたら事務局までご一報ください。

ホームページ→<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>

建物のない博物館 水辺に遊ぶ会ミュージアム(別館もあるよ)
→<http://www.geocities.jp/kabunykun/index.html>

電腦潟潟通信→<http://blog.livedoor.jp/mizube1999/>

事務局へのお問い合わせはメールで→mizube1999@yahoo.co.jp

へんしゅうこうき

■私の実家では、大晦日にはブリ、元旦にはサケを、そして年末年始とともに「ぶつぶつのおひら(←なんだかわかんないでしょー)」となます食べます。1日と3日の朝はお雑煮で2日の朝はぜんざいです。お餅は四角。所変われば品変わる。ほらねー、日本の食文化っておもしろい。さて、みなさんのお正月は何食べましたか? ぜひぜひ、レポートしてくださいね。(う)

アヤシイ干潟調査隊 鯨塚を探しに行く。

▼豊前海に打ち上がるスナメリを拾い続けるアヤシイ干潟調査隊。昨年は閻無浜神社でクジラの骨の大絵馬も見つけ、クジラと縁のある毎日なのだが、ある時、たこつぼハカラから豊前海にも鯨塚があるとの情報入手。こりや探さねば!!と、さつそく調査隊が出動した。

▼鯨塚といえば、水辺に遊ぶ会ができたばかりの頃、「干潟ツアーデ出かけた日杵で見た記憶があるよ」。漂着したクジラへの感謝や追悼の意味で建てられた塚なのだ。寄り鯨、流鯨などと呼ばれ、海辺に迷い込んだクジラは食糧難や貧困に苦しむ村に富をもたらしたそうだ。また、食べたり利用したりせずに、海の神様として手厚く葬られた場所もあるそうだ。

▼まずは場所がわかつている福岡市行橋市の沓尾漁港。あつたあつた。立派なのがありましたー。昔、体長18メートルのクジラがやってきた。これをなんとか捕まえようと、長崎のモリ師を呼んできて仕留めたんだそうな。そのクジラを供養して建てられた鯨塚には、明治三十六年一月二十八日と記されている。



Sea-Folk Museum 海の博物館（三重県鳥羽市）

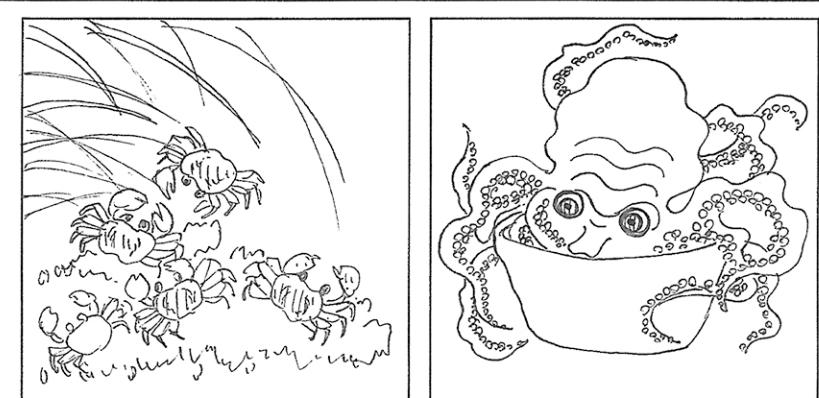
海民スポット

●博物館では会館当時から海の環境問題についても様々な取り組みをされてきました。その中で、松下龍一さんとのご縁もあつたと館長さんからうかがいました。海がつながっているように、海が大好きな人の思いもどこかでつながっているなんだなと感じました。



●長年あこがれだった海の博物館に行つきました。海女や漁木造船など海にかかる約5万8千点（内6879点が国指定重要有形民俗文化財）の民俗資料を所蔵、展示する民間の博物館です。「漁師さん・船乗り・海女さん、そして海辺に住む人が、海と親しく付き合ってきた歴史と現在、未来をみなさまに伝える『海と人間』の博物館です。訪ねてみて、この博物館に携わる方々の海に寄せる想いがたくさん詰まった場所なんだなと感じました。

●博物館では会館当時から海の環境問題についても様々な取り組みをされてきました。その中で、松下龍一さんとのご縁もあつたと館長さんからうかがいました。海がつながっているように、海が大好きな人の思いもどこかでつながっているんだなと感じました。



▼さて。次が難問なのだ。たこつぼハカラ曰く「大分県の豊後高田市と宇佐市にも鯨塚があるという記録があるけれど場所はわからない。ボクも探しに行つたけど見つからなかつたヨ」。インターネットで検索検索。豊後高田の吳崎の墓地にあるらしいとの情報を仕入れていざいざ!

吳崎のネギ畑をウロウロしながら、地元のおばちゃんに訪ねてみる「私はこここの出じやないからねー」との返事。次に道ばたで草取りしているおばちゃんにも聞いてみる。「あー、それね。子どもの頃、お墓で見たことがあるよ」ビンゴーである。教えてもらつた墓地にさっそく行ってみる。隊長、一隊員、アッキー教授、草むした墓地を3人で手分けして探す。ガサゴソガサゴン。

・・・・・見つからない。隊長が次に目をつけたのは、半分に折れて倒れた石塔。「台座から落ちてしまつたに違いないが、形状からすると、下になつている面に「クジラ」って書いてあるに違いない」。うんうん。「これはかなりそれっぽいよ。写真撮つてたこつぼハカラに見てもらおう。人々のお墓で、「こそ」そ歩き回り、その上写真をバチバチ撮つて、何とも罰当たりな3人組である。



▼親切なおじいちゃんがお墓の中を案内してくれた。歩きながら、昔はこの辺りまで海だつたそうで、クジラがやってきて捕まえた記念に墓を建てたんだと聞いていた。でも、よく見るとクジラって書いてあるし。小さなクジラのお墓には「南無阿弥陀仏鯨塔 天保十四年五月」とある。

江戸時代のものだ。一説には、江戸時代後期頃まで、コククジラが瀬戸内海に回遊ってきて、子育てをしていていたといふ。でも、お墓がいっぱいあることを知つて、クジラが漂着した村の人々は、さぞかし驚いたんだろうな。



韓国済州島で古代のたこつぼ発見 海民の旅

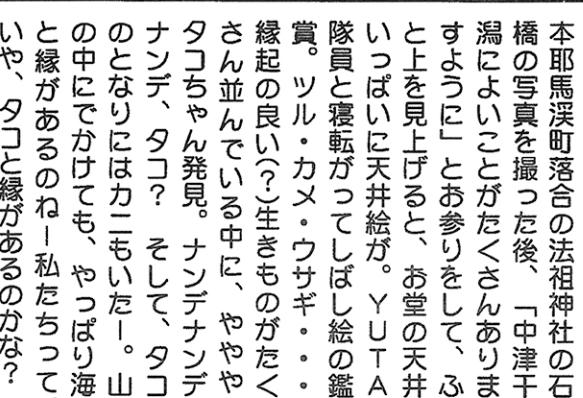


濟州島の「海女博物館」の展示の中に、見慣れた形のたこつぼ土器発見。おとなりには、アカニシを使ったたこつぼも展示されていた。いつ頃使われていたものかはわからないそうだけれど、大陸と瀬戸内海が海でつながっていた証しなのだと思うとおもしろいね。

本耶馬渓でタコとカニに遭遇する

▼石橋訪ねて三千里計画遂行中、本耶馬渓町落合の法祖神社の石橋の写真を撮つた後、「中津干潟によりこことがたくさんありますように」とお参りをして、ふ

と上を見上げると、お堂の天井にいっぱいに天井絵が。YUITA隊員と寝転がつてしまし絵の鑑賞。ツル・カメ・ウサギ・。のとなりにはカニもいた。山の中にでかけても、やつぱり海の縁起の良い(?)生きものがたくさん並んでいる中に、ややや、タコちゃん発見。ナンデナンデナンデ、タコ? そして、タコの縁があるのねー私たちって。いや、タコと縁があるのかな?



よい子の里海里浜図鑑